

予算決算審査委員会 厚生文教分科会報告書

平成29年10月27日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

厚生文教分科会
主査 掛谷 繁

平成29年10月27日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	備 考
議案第82号 平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について中、厚生文教分科会所管部分のうち、教育部関係	—

《 分科会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第82号の審査	2
閉会	27

予算決算審査委員会 厚生文教分科会記録

招集日時	平成29年10月27日（金）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会　～	午前11時59分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	主査	掛谷　繁	副主査	山本　成
	委員	橋本逸夫		立川　茂
		西上徳一		星野和也
欠席委員	田口健作			
遅参委員	なし			
早退委員	なし			
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	参考人	なし		
説明員	教育部長	川口貴大	小中一貫教育課長	川口貴大
	教育総務課長	大岩伸喜	学校教育課長	岡部高弘
	幼児教育課長	波多野靖成	生涯学習課長	高橋清隆
傍聴者	議員	尾川直行		
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○掛谷主査 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は6名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会厚生文教分科会を開会します。

本日は、議案第82号平成28年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定について、当分科会所管部分のうち、教育部関係の審査を行います。

別冊の決算書をごらんください。

また、順次お手元の所管別分類表によりやりますので、見ていただきたいと思います。

それでは、22、23ページ、13款分担金及び負担金、2項、1目民生費負担金、3節、4節で何かあれば。

○星野委員 4節の保育園費負担金の広域入所市町村負担金152万円ですが、人数は何名になるのでしょうか。

○波多野幼児教育課長 3名でございます。

○掛谷主査 ほかにはいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

4目教育費負担金、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

24から27ページ、14款使用料及び手数料の1項使用料、9目教育使用料の2節中の行政財産使用料についてどうでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じく使用料、9目教育使用料、3節中行政財産使用料、ないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じく使用料、9目教育使用料、4節、5節の教育使用料、どうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、同じく9目、教育使用料の6節中美術館使用料を除くところです。

○立川委員 公民館等使用料の439万225円、これは大体どこら辺が使われているか、団体、そういう統計はとっておられますか、例えば地域の団体とか。どうですか。

○高橋生涯学習課長 公民館使用料ですが、施設の使用料はそれぞれ冷暖房費と施設の使用料、それぞれの地区公民館の使用料と、市民センター等の使用料とが一緒になっております。利用した団体については、統計というか、データ自体は全部申請書がございますので、それをまとめればどこの団体がどれぐらい使用したかというのがわかってくるとと思います。

○立川委員 使用簿を見ればわかるでしょうが、それを統計的にとられておられるのかどうか。例えばどういう団体が多いのか、年代層はどの程度かという辺の分析はされておられますか。

○高橋生涯学習課長 団体ではなく、統計資料としては、使用人数とか、その辺の統計の一覧表

はございます。

○立川委員 これはお願いですが、年代層とか、どの辺が使っておられるのかも一度お調べいただけたらと思います。またわかれば教えてください。お願いします。お願いでいいです。

○掛谷主査 答弁は要らない。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 わかりました。

ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

28、29ページ、14款使用料及び手数料、2項手数料、9目教育手数料、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

28から31ページ、15款国庫支出金、1項国庫負担金、2目民生費国庫負担金の中の4節中私立保育運営費負担金で何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

30から33ページ、15款国庫支出金、2項国庫補助金、民生費国庫補助金、5節中の子どものための教育・保育事業補助金について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

32から35ページ、9目教育費国庫補助金。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

34から37ページ、16款県支出金、1項県負担金の中の民生費県負担金の4節中私立保育園運営費補助金はどうですか。

○立川委員 私立保育園運営費負担金545万8,740円、これは県から来ているが、備前市内には該当する園はありましたか。もう済んだんですか。1園だけでしたかね。

○波多野幼児教育課長 ただいま私立無憂華保育園1件だけでございます。

○立川委員 そのかわりと言ってはなんです、市のほうでやるんでしょうけど、民間で何とかしようという動きは聞いておられませんか。

○波多野幼児教育課長 例えば下野内科とかが病院内につくる保育所、くまのこ保育園がことしオープンいたしましたが、あくまでもその病院に勤務していらっしゃる方の預かりということで、ほかに私立として保育園、幼稚園、こども園を運営しようという動きは今のところございません。

○立川委員 院内とか所内保育所は別にして、これは多機能型、いわゆるパートの奥様連中がちょっとの時間を見てやろうかというふうな動きが全国的にも進んでいるが、そういう動きもないということで理解していいですか。ちょっと聞いているところがあるんですが。

○波多野幼児教育課長 私どものところには声は届いておりません。

○掛谷主査 ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

36から39ページ、16款県支出金、2項県補助金、2目民生費県補助金の中の7節子ども・子育て支援交付金を除くところです。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

36から39ページ、同じく補助金ですが、2目民生費県補助金、16節のところですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じく県支出金の県補助金は同じですが、5節の農林水産業費県補助金の5節中の公共空間木質化促進支援事業補助金について、どうでしょうか。そこだけです。

○立川委員 この公共空間木質化促進支援事業、これは具体的に何件か教えていただけませんか。

○大岩教育総務課長 これは、フューチャールームの小学校の机の天板が2人がけ用になるわけですが、県産の木材を使い119台購入した分に対する補助金でございます。

○掛谷主査 次に参ります。

同じところですが、40から43ページ、9目教育費県補助金についてよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

42、43ページ、同じく県支出金、3項県委託金、1目総務費県委託金の中の5節中、学校基本調査委託金について何かあれば。

○立川委員 内容を教えていただけますか。8,000円でどんな委託の調査になったのでしょうか。

○大岩教育総務課長 5月1日基準日の小・中学校の学級数とか児童・生徒数の調査でございます。

○立川委員 いや、そんなもの委託せんでも、集計したらおしまいじゃないですかと思うが、いかがですか。

○大岩教育総務課長 調査の依頼が来た分に対する県からの委託なので、そういったものでございます。

○立川委員 もらったものはもらっただけで、職員ですっと片がつきますわな、パソコン上で。そういった補助金といいますか、委託金みたいなものですか。

○大岩教育総務課長 県からの委託に対して報告した分に対する県からの支出でございますので、どうこう言うものではございません。

○掛谷主査 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

44、45ページ、同じく県支出金の3項県委託金、9目教育費県委託金、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

17款財産収入、1項財産運用収入、1目財産貸付収入、これ別冊に詳細がありますので、参考にしていただきながら質問をしていただきたいと思います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じく、2目利子及び配当金、これも別紙を見ていただきたいと思います。細かく載っております。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

46、47ページ、財産収入の2項財産売払収入、2目物品売払収入、これも別紙のところですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

48、49ページ、18款寄附金、1項寄附金、10目教育費負担金の1節について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

50、51ページ、9款繰入金、2項基金繰入金、17目学校教育振興基金繰入金について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

52、53ページ、21款諸収入、2項市預金利子、1目市預金利子の一部について。

○立川委員 平均利回りを教えてください。元金掛ける何%イコールこの金額が出てくると思うが。

○掛谷主査 わかりますか。

○立川委員 後で結構です。

○掛谷主査 平均利回り。後でということで、次に行きます。

同じく諸収入の3項貸付金元利収入の8目奨学資金貸付金元利収入について。

○星野委員 滞納件数をお教えてください。

○高橋生涯学習課長 滞納は、全体58人のうち、16名が該当いたします。

○星野委員 昨年度決算では17人だったが、これ単純に1名の方が減ったのか、それとも入れかわりがあったのか、お教えてください。

○高橋生涯学習課長 1名の方が減ったという認識でお願いいたします。

○星野委員 あと、月々の返済額をお教えてください。

○高橋生涯学習課長 月々の返済額も、借入金の額が個人によってばらばらなので、個人個人についてということであればわかりますが、全体的にという話になるとお答えに困るところがございます。

○星野委員 平均でどれぐらいかです。

○高橋生涯学習課長 奨学資金の返還金のところを見ていただくと、530万5,136円という数字がございます。この人数が49人ということになりますので、単純に割っていただいた額ぐらいで平均ということで御理解いただきたいと思います。

○星野委員 それを年数で月々を。

○高橋生涯学習課長 ざっと11万円弱ぐらいでございます。

○掛谷主査 よろしいですか。

○星野委員 はい。

○掛谷主査 それでよろしゅうございますので、次に参ります。

54から63ページ、21款諸収入、5項の雑入の5目雑入、別紙をごらんください。

雑入がずっとありますので、もうどこでも結構でございます、該当のところは、どうぞ。

○立川委員 57ページ、14節職員給食費徴収金、保育園職員給食費徴収金924万2,250円、幼稚園職員給食費徴収金123万7,450円、人数的にはそう変わらないが、何でこういう差が出るのでしょうか。まず人数から教えていただけますか。

○波多野幼児教育課長 人数的には、予算決算審査委員会資料の職員の分でございますよね。

〔「はい」と立川委員発言する〕

35ページが保育所の現況で人数を示させていただいております。保育士は、正規職員、臨時、パートを含め、全体で昨年120名でございます。

続いて、36ページ、幼稚園教諭については58名でございます。

○立川委員 これは、済みませんが、僕もいただいてこれを見たが、人数はこれでわかるが、何が知りたいかというたら、これ120人の方が全部食べておられるんですか。それと、58人が食べておられるとしたら、金額的にあれっと思うんですが。単純な計算ですが、120人で900万円でしょう。58人で123万円。そこら辺が知りたいんです。全員皆さんが食べておられるのか、どういう形態でこういう徴収が発生しているのか、そこら辺が知りたかったんです。

○波多野幼児教育課長 特に保育園の場合は、パートの方で午前中で終わられる方もいらっしゃいますし、午後からの方もいらっしゃいます。そういった方は昼食をとりませんので、そういった方は給食費の徴収はございません。あくまでフルタイムプラス6.5時間の方の朝から夕方までいらっしゃる方について必要ということで徴収しております。

○立川委員 いや、ですからその該当の人数を知りたかったんですけど。パートは食べられないから、120人のうちパートは引いてくださいという数字で捉えたらいいのでしょうか。これ何人分集めて九百何万円でしょうか、実質ですよ。保育園の方も、何人集めてこれだけでしょうかということが最終的には知りたかったが、全員食べておられるのかどうかということもちょっと。例えば出張とかお出かけとかあると思うが、その辺のぐあいを知りたかった。原則は皆さん食べてくださいということになっておるのか、その辺までいきたくはあったが、まとめてお答えいただきたいと思います。

○波多野幼児教育課長 全員ではございません。ちなみに、出張する際は当然給食は発生せず、昼食は要らないわけですから、とっていないものと思われまして。

○立川委員 後ほど結構ですから、一番知りたいのは、例えば幼稚園なら幼稚園、保育園なら保育園で、子供たちと一緒に食べておられるのか。そういう先生が何人おられるのかなというつ

もりでお聞きをした。というのは、先生は職員室で食べているよ、子供たちは子供たちだけで食べて、変な話見回りだけしているよという感じなのか。それとも、その時間は、先生と一緒に食べて食べようねという形でやっておられるのが本当は知りたかったんです。その辺はいかがですか、原則はどうなっていますか。

○波多野幼児教育課長 園長、主任教諭は職員室で食べる場合もございますが、ほかの職員については担任、副担任ということで子供たちと一緒に食べております。

○立川委員 これは、保育園も幼稚園も一緒ですか。

○波多野幼児教育課長 現在の幼稚園については、香登、東鶴山、伊部幼稚園は弁当持参でございます。日生幼稚園は、共同調理場から給食を搬入しております。保育園については、全て現場調理ということで給食を実施しております。

○立川委員 これに準じてじゃないですが、一覧表的なものがあればすごく助かるが、つくってはいただけませんか。今おっしゃったようなことです、ここは丸です、ここは自園でやっていますから二重丸とか、お弁当だから三角とか。我々がわかりやすいような一覧表的なものできますか、園ごとに。

○掛谷主査 できますか。

○波多野幼児教育課長 園ごとの給食、弁当、それからどれぐらいの先生方が食べているかも加味したものということでよろしいでしょうか。

○立川委員 いや、実行状態だけでいいです。

○波多野幼児教育課長 園ごとの実行状態は作成いたします。

○掛谷主査 わかりました。

何かほかにございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

今歳入が終わりましたので、歳出に参ります。

まず、86から89ページ、2款総務費、1項総務管理費、12目自治振興費、これ別紙8ページをごらんください。詳しく載っております。8節報償費と、19節負担金補助及び交付金の地域おこし関係、ございせんか。

○立川委員 89ページ、19節負担金補助の中で、地域おこしの住宅費の補助金が結構出ているじゃないですか。去年は300万円だったのが600万円ほどになっているので、この辺はここで聞いていいんですか。

○高橋生涯学習課長 実質、去年は教育協力隊が4人活動しており、教育協力隊としては確かに人数はふえています。全体でという話になるとちょっとわかりかねるところはありますが、教育だけで言いますと、1人ふえております。

○立川委員 4名になったのをことしやめたような記憶があるが。

○高橋生涯学習課長 ちょっと活動の内容が不明瞭な部分がございます、私どものほうで事情

聴取をした上でおやめいただいたというところでございます。

○掛谷主査 今は3人ですか。

○高橋生涯学習課長 現在は3名でございます。

○掛谷主査 ほかはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、飛んで112から115ページ、3款民生費、3項児童福祉費の1目児童福祉総務費の12、13、19節の一部について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じ児童福祉費で、2目児童措置費、13節中の私立保育園運営委託金について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じところで、4目保育・幼稚園費について、どうでしょうか。

○立川委員 この決算から保育と幼稚園が一緒になってしまってちょっとわかりづらかったが、時間外のことでお尋ねしておきます。幼稚園、保育園、こども園、一応これ表はもらったが、どうですか、1人当たりはふえているような気がしているが、時間外勤務手当876万1,025円計上があるが、傾向的にはいかがですか。

○波多野幼児教育課長 表で示してあるとおり、特に27年度から28年度にかけ時間外がふえております。

○立川委員 原因と現場の声はどう聞かれていますか。

○波多野幼児教育課長 原因については、ほぼ延長保育の増大が原因でございます。延長保育の増大については、やはり無償化あるいは今の働き方で子供を従来であれば4時半までにはお迎えに来ていたお母さん方が、5時、6時、最大7時まで預かっていただく数のほうがふえております。それについて、園の職員が残るといった状況が続いているためでございます。

園の声については、やはりパートなり人のほうの手当ができればということで、園を訪問した際に園長から聞き取るようにしております。

○立川委員 本当に、時間外、延長保育等が主な原因だということで、都会ではと言うたらおかしいですけど、これやっぱり委託にされているところが結構ふえておると思う。職員にすると、時間外もそうでしょうし、いろんなことで不満とかが出てくる可能性が高いので、できたらそういう雇用の促進ということを、時間外で5時ぐらいから手があいているよという人を見つけてこられるのも手と思うので、その方法をされたらと思うが、部長、どうですか、方法はありますか。

○川口教育部長 委託という形でやってはどうかという御提案ですが、委託の場合はまた責任関係が問題になろうかなというふうに思われ、そっちも含めて慎重に検討することが必要かなと思います。

現状として、パートという形で本市では取り組んでおりますので、まずはこれで十分かどうか

見きわめるところが必要かなと考えております。

○掛谷主査 よろしいですか。

○立川委員 いいです。

○橋本委員 この保育料の問題ですが、どんどん備前市は無償化して行って、皆さんが保育園に入れたがるということで、保育士の確保に今まで苦慮されておるといことですが、この28年度はどんなかったでしょうか。十分潤沢に手配がついておったのかどうか、その点をまずお尋ねいたします。

○波多野幼児教育課長 保育士については、正規職員は産休、育休に入られる方もいらっしゃいましたが、若干ふえております。ただし、年の途中からやはり6カ月になったから入る、1歳になったから入るといったような中途入園に対する対応のほうがいま一步であるというふうに認識しております。

○橋本委員 要は、本当はもっと保育士を確保したいが、なかなか市の希望どおりにはいってないという実情ですか、28年度は。

○波多野幼児教育課長 実情では、何とか希望する方は入園していただきましたが、正職員の割合をもっとふやしたいといったのが私どもの現状でございます。

○橋本委員 そういった中で、岡山市の場合、保育士の絶対数が足りないということで、少し従前の雇用条件よりもアップをして採用に努めておるといようなことも聞きました。あるいは、備前市の場合、お隣の赤穂市と比較すると、赤穂市のほうが同じ保育士で勤務するにしても待遇がいいといようなことで、備前市がちょっとその谷間になる向きがあるが、待遇面で28年度は27年度と比較してどんなかったでしょうか。少しアップしているといつか、そういう状況なんでしょうか。

○波多野幼児教育課長 臨時職員、パートの基本給については、27年から28年については基本変わっておりません。

○橋本委員 若干の不足といことであるならばまだいいとは思いますが、今後のことを考えると、やはり待遇面もある程度考えないと難しさが出てくるんじゃないかと。特に29年度からですか、ゼロ歳児からといことで、何でも無料にするととにかく保育園に通わせたいとい保護者がふえますので、それらに対応していこうと思ったら、やっぱりある程度の人数を確保せにやあならんといことになるかと思いますが。

もう一点、よく言われる本当に保育に欠ける子なのか、保育を必要としている方なのかとい見きわめを、結構以前は厳密にやっておられたやに聞くが、最近はどんなですか。ただだからうちうちもといことで申し込みをされてくる中で、いや、あなたのところはこれだめですよといような拒否をするような事案といのはありますか。

○波多野幼児教育課長 平成27年度の国の制度改正により、特に保育園、こども園はほぼ市を経由して入園申し込みのほうに参ります。その際には、当然保育に欠ける子といのが、保育園

それからこども園の2、3号認定の要件になりますので、会社、パートに行っている方については、会社からの給与証明とか、それから逆におじいさん、おばあさん世帯も調べ、預かれる状況であるかどうかというのも厳重に調べた上で回答をさせていただいております。

○橋本委員 例えば平成28年度において、入園を申し込まれたが、いや、あなたのところはだめですと拒否をしたような事案というのがありますか。

○波多野幼児教育課長 ございます。

○橋本委員 備前市全体で何件ぐらいありましたか。

○波多野幼児教育課長 正式な数までは把握できておりませんが、毎週のように入園の問い合わせがございます。問い合わせの段階で、こちらに来られてだめだと言う前に、一応の案件は聞いた上でお断りしているものも含めると、毎月1件はございます。

○掛谷主査 いいですか。

○橋本委員 はい。

○掛谷主査 ほかにいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じところで、6目幼保一体型施設整備費でございます。120ページ。

○星野委員 工事請負費の継続費5億400万円、これはたしか認定こども園の分だと思うが、所属がえがあって詳細についてはわからない面があるかもしれないが、2階建てが1階建てになった経緯をお教えてください。

○波多野幼児教育課長 6月のこの委員会でも若干触れさせていただきましたが、まず伊部のこれについては、基本的に設計のおくれと私ども執行部の検討内容のおくれから生じております。その検討内容といいますのも、2階建てについては、伊部の子供だけでなく、認定こども園というのはいろんなところから受け入れられるということで、例えば香登とか東鶴山とか、そういったところからも子供たちが来るんじゃないか、もっと大きい受け入れをつくっておかないといけないのではないかというような検討で、2階建ての図面の検討に入りましたが、4月の段階で市長もかわり、再検討した結果、教育委員会では基本的に認定こども園は、地元の子供は地元で育てるという概念のもと、伊部地区について250名分を確保していれば十分ではないかという観点のもと、4月の末に1階建てということで最終決定をさせていただいております。

○掛谷主査 いいですか。

○星野委員 はい。

○掛谷主査 ほかにはどうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

170ページ、10款教育費、1項の教育総務費、教育委員会費のところでは。

○立川委員 教育委員会委員報酬249万6,000円、これは1人当たり、これを割って単純でいいんでしょうか、そこら辺。

○大岩教育総務課長 月額5万2,000円の4人の12カ月分でございます。

○立川委員 3年前と金額が変わってきているが、今は固定ということでいいのでしょうか。

○大岩教育総務課長 今は、この固定のままでございます。

○掛谷主査 よろしいね。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 教育委員会費のところ、いいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じところの事務局費、2目の中の27節を除くところで、どうぞ。

○橋本委員 173ページの7節賃金、スクールバスの運転員の賃金が3,300万円余りございますが、これ何名分でしょうか、スクールバスの賃金は。

○大岩教育総務課長 今現在、運行管理者を1名含め、運転員18名分でございます。

○橋本委員 18名というところかなりお安いですよ、1人当たりにすれば。以前、統合して、スクールバスに単独でするときに、やはりある程度の所得も確保してあげないとだめだという中から、スクールバスを利用して、例えば中学校であれば対外試合に行くとか、何かの大会に行ったり、あるいは小学校であればバスを利用して遠足に行ったりというようなことにも結構積極的に使いましょうというようなことだったが、その利用はどんなのでしょうか。といいますのが、私は、このスクールバスの運転員の1人当たりの平均の年収が少ないから、余りうまみがないと思えるが、いかがでしょうか。

○大岩教育総務課長 スクールバスは今パートで時間給の方がほとんどですが、大体時間1,310円だったと思いますが、現役世代の方ではなく、引退された方とかがしているわけですが、スクールバスの時間帯だけでしたら1日雇い上げてかなり時間があきますので、今は校外学習とかにかなりの要請が小・中学校からあります。4月から6月、今は秋の校外学習シーズンですが、今私の資料は4月から6月までしか持ってないですが、その間でも29件ぐらい、そのときで、備前市外に行くとか、どこどこで工場見学とか、あと部活とか県大会レベルの部活等々ということで、かなり使用頻度は土日とかもあります。

○橋本委員 私、このスクールバスの運転員のある程度の収入の確保のためにも、あるいは小・中学校が積極的にいろいろなところにスクールバスを利用して活動できるようにするためにも、これをもっと利用を促すというか、促進させる必要があると思いますので、そのあたりを各小・中学校に、そういう要望があればどんどん言ってきてくださいと、どんどん派遣しますという形で督促をしていただきたいと思うが、いかがでしょうか。

○大岩教育総務課長 一応バスはスクールバスということが基本ですので、それを侵さない範囲でしたら使ってくださいということはおかねがね申し上げております。

○掛谷主査 よろしいか。

○星野委員 同じ部分です。厚生部分の審査でも述べたが、安全管理マニュアルの作成、年齢制

限、運転手の。田口委員も言われていましたが、健康診断の年2回実施などの事故を起こさない対策をしっかりとっていただきたいが、いかがでしょうか。

○大岩教育総務課長 うちのほうも公共交通課に委託というか、お願いしていますが、今スクールバスの運転手の年齢が平均68歳ぐらいになってきているので、年齢制限を今考えているところですが、それによって、当然職員の運転手の確保という問題もありますので、今はちょっとパートのところが多いので、年収とかで年金生活者の方とか、ずっと拘束される仕事というのを嫌われる方もおりますし、いろいろパターンがございますので、その辺を募集しやすいような感じでやはりしていきたいというのと、年齢が現役世代がなかなか入ってこられないという面もありますから、今の高年齢の運転手の方については、健康管理の面とか年齢制限をして、その辺は十分運行管理者等とも協議しながらやっていきたいとは考えております。

○星野委員 事故が起こらないようにしっかりやってください。

次に、委託料の実践研究委託料、この間の審議会でちょっと教育長と議論がかみ合わない状態があったが、オフラインでも使用できるデジタルドリルのインストールが全て完了したのはいつですか。

○大岩教育総務課長 私の記憶では、5月ぐらいだったと思います。

○星野委員 28年9月の厚生文教委員会でもいただいた資料では、29年2月中にインストール完了となっているが、こういうスケジュールにおくれが生じた場合などはぜひ委員会等に報告を上げてください。お願いします。

○掛谷主査 昨年2月にインストールが終わるという答弁があったの。

○星野委員 いや、ことしの2月。

○大岩教育総務課長 春休みに持って帰れるということで、そういったスケジュールを組んでいたと思いますが、一部のところでインストールができなかったというのは聞いております。それでおくれたということで伺っております。

〔「一部」と星野委員発言する〕

はい、一部。

○掛谷主査 よろしい。

○星野委員 はい、いいです。

○立川委員 ちょっと戻るが、173ページの報償費。アドバイザー謝礼ということで10万2,000円、毎年これ出てきよんですけど、内容と効果というのはおかしいですが、そういう使った後の分析みたいなことを教えてください。

○眞野小中一貫教育推進課長 この11万2,000円のうち、10万2,000円分が小中一貫教育推進懇話会のアドバイザー謝礼で、3回、関西福祉大学学長の加藤先生に来ていただいたお礼をお支払いしています。小中一貫教育推進を進める上で、市内の全校の推進担当者に集まっていたいただいて、共通認識を持っていただくという意味で開いておりますし、加藤先生からはいつ

も適切なアドバイスをいただいております、小中一貫教育に対して推進が進んでおると思っております。

○大岩教育総務課長 教育総務課分のと残り1万2,000円でございますが、こちらは教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の報告に関する検証謝礼ということで、岡山理科大学の准教授の方をお願いしておりますでございます。また、ことしの分も12月中に完成いたしますので、またお配りすると思っておりますので、よろしく願いいたします。

○立川委員 小中一貫も3回していただいて、加藤先生に来ていただいて、成果が上がるならもっと費用を要求して何回もされたらどうですか。3回と言わずに、5回でも、6回でもというお考えはありますか。

○真野小中一貫教育推進課長 ただ、各学校はそれぞれ行事等で忙しいという部分もありまして、研修などはもう極力減らしてほしいというような要望もございます。3回で十分効果が上がるようにこちらのほうも努めてまいります。

○立川委員 同じくその下の需用費、消耗品費が極端にふえたが、内容と目的を教えてください。一緒に、印刷製本も倍増になっているが、どんな内容か教えてください。

○大岩教育総務課長 消耗品のおよそ1,000万円の増額だと思いますが、主な増分についてはタブレットケースを2,562台、約3,600円の分の購入費用と、あと雨の日の校外学習というか、それ用の防水用のタブレットケースということで461台、単価が約3,100円で購入しております。

○真野小中一貫教育推進課長 印刷製本費ですが、小中一貫教育推進の平成29年4月号の印刷代がここに含まれており、16万7,400円分となっております。3月中の支払いになるのでこういう結果となっております。

○立川委員 情報のネットワーク設定、これもかなり増額にはなっとんですが、その理由を教えてください。

○大岩教育総務課長 フューチャールームの整備に伴い、その部屋の中で使うICT機器の環境設定業務の委託料の増でございます。

○立川委員 これは、フューチャールーム全部ということですか。それとも、限定で、どここの学校というふうに分けておられたんでしょうか。

○大岩教育総務課長 全部でございます、15校です。

○立川委員 ということは、これ割る15にしたらいということですか。

○大岩教育総務課長 機器の数にもよりますが、小学校と中学校で若干は違ってくると思いますし、いろいろ機器の設定、購入も小・中学校で違いますので、若干違ってくると思います。

○立川委員 今ざっとお聞きしたが、タブレットのケースであったり、フューチャールームの分であったり、もういろんなものが入ってきよんですが、タブレットですと、充電保管庫はまだあるんですか、この次の予定はどうですか。

○大岩教育総務課長 今現在、木製の分を1台購入していると思います。今の段階は未定でございます。

○立川委員 一度食べたらどこまでも食べないかんのですから、ICT関係でいわゆる周辺機器といいますが、こういった雑費と言ったらおかしいですが、附属的なものはどこまでいかれる予定ですか。もうこれで大体終わりですか。見解はどうですか。

○大岩教育総務課長 ハード面についてはもうほぼ終わっていると思いますが、今度サポートの終了、タブレット機器とか、パソコンのサポート期間が切れるのもありますし、充電が約4年とかと言われるところで、タブレットについても陳腐化が進んでくるということで、次はまた更新の時期が一番問題になってくるかと考えております。

○立川委員 費用的な面はどの程度組んでおられるのか、見込みで結構ですから。このぐらいあれば何とか乗り切れるかなど。全く無計画で単発でどんどん出てきたら、何ぼでもおろしてくれるという感覚でしょうか。それとも、計画はある程度されておられるのでしょうか。

○大岩教育総務課長 計画は、まだタブレットも無償でこの3月にいただいておりますし、パソコンも無償でもらっていくという形の中で、今過疎債を充てて機器等を整備しておりますので、その処分期間が6年ということがございますので、32年度をめどに更新をその準備段階として考えておるところでございます。

更新の内容としては、パソコンルームについては、タブレットに何らかのキーボードをつけるような形で、パソコンについては更新しないでもいいかなと思っております。ただし、教員用のパソコンについては更新しないといけないと思いますが、生徒用についてはパソコンルームのパソコンについてはタブレットのキーボードで対応できるのでないかなと考えて、経費節減を考えているところでございます。

○立川委員 大変だとは思いますが、さっき言いましたように、一度食べるともうしょうがないので、これはお願いですが、ICT関係についておっしゃっているとおりタブレットがあったりパソコンがあったりいろんなものが出てくると思うが、その辺の見直しと言ったらおかしいですが、ロードマップ的なものをつくってもらえませんか。我々も聞くのも困るし、そちらもお答えするのも何でしょうから、タブレットについてはここで更新しますよ、ですからこういうのが発生します、パソコンについてはこうですという3年から5年スパンのロードマップみたいなものができれば、我々も見やすいし、そちらも予算要求がしやすいと思うが、そういうのはいかがですか。

○大岩教育総務課長 いずれは準備していかないといけないことなので、ロードマップをつくるようにいたします。

○掛谷主査 ほかにはよろしいですか。

○星野委員 175ページの工事請負費、施設整備工事1億6,637万円、これはフューチャーームの整備がほぼだと思いますが、通信環境の整備等は別で行っているの、フューチャー

ルームに限ってのランニングコストというのは今後発生しないと思っていればいいのでしょうか。

○大岩教育総務課長 機器のふぐあいとか、あと電気代、ソフトの入れかえ作業とかで費用が発生するとは思っております。

○星野委員 大体年間のランニングコストはどれぐらいを見込まれているのでしょうか。

○大岩教育総務課長 今のところ、電気代とかソフト関係の入れかえぐらいしか見込んではいません。

○掛谷主査 よろしいですか。

○星野委員 金額的なものを。

○大岩教育総務課長 今のところ、まだ算定はできておりません。

○星野委員 わかりました。

○立川委員 関連で、今言いましたように、フューチャールームもひっくるめて、先ほどのロードマップのほうに。

もう一点、フューチャールームを各学校で15学校でできていると思うが、それぞれ運用状態が違うと思うが、何か学校から要望とかこうしたほうがいいのか、そういう情報の共有的なものが出てきていますか。全然ないですか。もうおまへのところに任せたと知らん顔ですか。

○大岩教育総務課長 現場の学校の先生が授業時間で使うということで、今のところ使い方の研修とか支援員とかの派遣をしておりますが、その授業での運用状況については、先生方の要望というか、こういうふうにしてくださいというのは吸い上げていきたいとは考えております。

○立川委員 以前はあちこち授業を見せてもらったこともあるが、先生の中にはやっぱりいい案を持っていらっしゃる先生もいるので、共有という面で進めていただけたらより有効という気がするのですが、そっちのほうはどうですか。例えば半年に1回、現場の先生だけを集めて、校長、教頭は要りませんから、実際にやってらっしゃる先生と情報を共有するという時間も持たれたらどうかと思うが。これも時間外勤務で難しいですか。

○大岩教育総務課長 今の時点でも、学校の先生とかと使い方について研修会を行っておりますので、そういったところも充実しながら使い勝手のよいものにしていただければと考えております。

○掛谷主査 ほかによろしい。

○星野委員 その下の貸付金、奨学資金貸付金156万円、この中に海外留学貸し付けはあったのでしょうか。

○高橋生涯学習課長 28年度は海外留学の貸し付けはございません。

○星野委員 利用がなかった理由というのはどこら辺にあるのでしょうか。周知がまだ徹底されていなかったのか、使い勝手に問題があるのか、そのあたりはどう捉えていますか。

○高橋生涯学習課長 通常の奨学金と同様の広報の打ち方はしていますので、需要がやはりなか

ったのかなというふうに分析しております。

○立川委員 その関連で、これ金額がだんだん減ってきているように思うが、何か理由があるのでしょうか。何か捉えておられますか。昨年と比べてもほぼ半額ぐらいになっただけですが。

○高橋生涯学習課長 28年度については、まだ有利子の貸し付けをやっておりましたので、その辺で使い勝手を考えられてのことかなと思います。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、ここで一旦休憩に入ります。

午前10時46分 休憩

午前11時00分 再開

○掛谷主査 休憩前に引き続き分科会を再開いたします。

○岡部学校教育課長 先ほど出ておりました52、53ページ、21款諸収入の2項市預金利子、1目市預金利子の1節市預金利子69万1,592円のうち、小学校から預金利子32円が学校教育課へ戻ってきております。これは、各学校へ補助金を出しております。各校では普通預金の通帳にそれを入れて、必要に応じて運用しております。そのため、預金利子がついたものについては、学校教育課に返していただくということです。したがって普通預金の利回りということになると思います。

○掛谷主査 よろしい。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

174ページの3目教育研修費について、どうでしょうか。

○星野委員 報償費の講師謝礼393万円、こちらに陰山先生を招いての研修会の費用が入っていると思うが、何回ぐらい研修会を開かれたのでしょうか。

○岡部学校教育課長 教員対象の研修会が1回、保護者対象の研修会が1回、これはどちらも吉永地域公民館のホールを使っております。それから、学校に合計で5校、陰山先生に訪問をしていただいて研修を持っております。

○星野委員 同じところで不用額が49万円発生しています。この理由をお教えてください。

○岡部学校教育課長 1つは、先ほど出ました陰山先生の学校訪問を6校分とっておりましたので、そのうちの1回分が不用になっております。それから、教員の研修会の講師謝金を2万円とっておりましたが、謝金の要らない先生にお願いすることができましたので、その分が不用になっております。それから、ICTの活用推進協議会の講師の謝金についても、講師の先生の旅費を含めて謝金をお支払いしておりますが、東京を基本に考えておりましたが、近場から来てくださっている講師の方がいらっしゃったということで少なくなっております。

それから、放課後学習サポート事業のアドバイザー謝礼が実施の実績により減額になっております。

○掛谷主査 よろしいですか。

○星野委員 はい。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

○山本副主査 今の講師謝礼の中で、備前まなび塾の講師の方も含まれておるんですか。

○岡部学校教育課長 まなび塾については、28年度から生涯学習課の所管になっておりますので、含まれておりません。

○掛谷主査 いいですか。

○橋本委員 講師謝礼の関連ですが、これ教育長が陰山教授のことを余人にかえがたいという表現で物すごくすばらしいんだということで、鳴り物入りでこれをやられたと思うが、結局この陰山メソッドを各小・中学校でどんどん導入してやりようというような状況にこの28年度はなりましたでしょうか。

○岡部学校教育課長 陰山メソッド導入については、小学校のみです。28年度については、初年度ということで、希望する学校に漢字ドリルそれから百ます計算をしていただいているという状況です。

○橋本委員 その利用度というか、取り組み度は、ほとんどの小学校でこれをやっているかと認識しとったらよろしいでしょうか。

○岡部学校教育課長 漢字ドリルについては、約半数ぐらいの学校ということになります。それから、百ます計算については2校の小学校で実施をしております。

○橋本委員 百ます計算を2校しか逆にやってないというのは、何か理由があったのでしょうか。

○岡部学校教育課長 学校のほうに漢字ドリルまたは百ます計算、どちらかをということで、両方やっても構いませんということもお伝えして、学校が選択したということでございます。

○橋本委員 28年度から実施し出して、29年度も引き続きずっとやっておるということで認識しとったらよろしいでしょうか。

○岡部学校教育課長 本年度は、希望というよりは、各校漢字ドリルか百ます計算のどちらかは必ずやってくださいと。あるいは、両方実施したい場合は可能ですということでお伝えをしております。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

○立川委員 175ページの11節需用費51万8,506円、これ大分増額になっていると思うが、その理由と内容がわかりましたら教えてください。

○岡部学校教育課長 需用費の増額については、陰山メソッドの漢字ドリル購入費になっております。

○立川委員 その次の役務費、手数料170万3,400円、これ多分減額になっていると思うが、前年比ですけど、何か理由がわかりましたら。

○岡部学校教育課長 平成27年度は、まなび塾の傷害保険料等が含まれておりました関係で金額が多かったわけですが、28年度は、先ほども申したように、学校教育課から離れておりますので、その分の減額と。それから、学力検査手数料が教育総務課が行っておりますベネッセの学力調査と重なるために、学校の負担軽減ということで標準学力検査を未実施している学校があるということでございます。

○立川委員 ベネッセの分は、それは別に選択でいいんでしょうかね。

○岡部学校教育課長 同時期にということで、4月にテストが2つも3つも重なることで子供たちの負担増ということで、全国学力調査とか県の学力調査等も活用しながら、負担軽減をということで実施しております。

○立川委員 そしたら、もう今後はそれはやらないという解釈でよろしいですか。

○岡部学校教育課長 教育総務課のベネッセの学力調査がある状況が続く場合は、そちらで代用していくと。それよりも、Q-U検査であるとか、そういった学校が要望している検査に移行していきたいというふうに考えております。

○掛谷主査 よろしいでしょうか、ここは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、176から179ページ、2項小学校費全部でどうでしょうか。

○星野委員 177ページの委託料、ALT配置事業委託料、ALTの方が担当する各校の授業こま数を表にさせていただきたいが、できますでしょうか。

〔「何曜日の何時間目に行っているとかというあたりのものでしょうか。それとも、時間数」と呼ぶ者あり〕

時間数で。

〔「時間数でよろしいですか。はい、作成いたします」と呼ぶ者あり〕

中学校もあわせてお願いします。

〔「はい、わかりました」と呼ぶ者あり〕

○掛谷主査 ほかには、小学校費。

○西上委員 委託料の草刈り作業等で、草刈りは用務員がすると思っていたが、そうじゃなかったんですね。どこに委託しとんですか。

○大岩教育総務課長 片上小学校の急斜面の裏ののり面と東鶴山小学校の斜面を実施しております。

○西上委員 等ということは、草刈り以外もあつたんですか。等の意味を教えてください。

○大岩教育総務課長 先ほど言いました東鶴山小学校と片上小学校と、あと学校にそれぞれ配分しておりますので、学校の中で使っていただいている部分がありますので、その草刈り等の中の等は、そこまでは把握し切れていないのが実情でございます。

○掛谷主査 よろしい。

○西上委員 よろしいです。把握してください。お願いします。

○掛谷主査 またわかれば教えてください。

○大岩教育総務課長 先ほど西上委員の草刈り等の「等」ですが、こちらは樹木の害虫防除作業ということでお願いしているのが「等」で使用しております。

○立川委員 1点だけ、このページの一番上で忘れとったんですけど、3目の負担金で、特色ある学校づくり補助金が上げておられるが、これここ二、三年で見るとちょっと下がっている。ところが、今年度の予算ではまた上がっているんです。動きがあるのはどういう理由か、それと今後どうされるのか、教えていただきたい。

○岡部学校教育課長 負担金が少なかったのは、教育総務課が持っております学校応援基金がありました関係で減額をしておりました。今年度、また学校の希望によりふえていく可能性はありますが、ふるさと郷土学習に特化した特色ある取り組みをしていただくということで学校から要望を上げていただいて、それで補助金を配分していくというふうに考えております。

○立川委員 ふるさとに特化ということをお聞きしたが、具体的に何か1つか2つ、こんなんをやっているよというのがあったら教えてほしい、計画の段階で。

○岡部学校教育課長 多くの学校が取り入れているのが、備前焼づくり、それから地域の方との交流ということで、米づくりとか、それが終わった後のお飾りづくりとか、そういったことを小学校では積極的にやっているというふうに考えております。

○立川委員 今後も拡大の方向でしょうか、それとも縮小の方向でしょうか。それだけ教えてください。

○岡部学校教育課長 現状が維持できればいいと思っております。

○掛谷主査 ほかに、小学校費のところはございませんか。

○立川委員 177ページ、同じく7節賃金で臨時雇賃金と作業員賃金、去年と上げ方が違ってらるんですか。その辺を教えてください。

○掛谷主査 増の理由。

○立川委員 そうですね。それと、上げ方がちょっと。800万円ぐらい上がっているでしょう、増額。

○岡部学校教育課長 5,674万1,252円のうち、学校教育課が3,546万5,718円でございます。これについては、小学校の市費による非常勤講師の方、教育支援員の方、学校図書館司書の方の賃金ということになっております。この部分については、昨年度と上げ方は変わっていないと思います。

○立川委員 何が違うとんですか。残りは総務ですか。

○岡部学校教育課長 総務分については、10人の臨時用務員、月額14万4,300円の方の通勤手当と特別賃金ということで、昨年度より逆にマイナス15万8,000円ぐらい低くなっ

ております。

○立川委員 そうしたら、総額で800万円程度増額したのは、誰か、小中一貫が取ったんですか。原因がわからないんですけど。総務のほうは減っている。

○岡部学校教育課長 前年に比べて800万円の増額という部分については、教育支援員が27年から28年にかけて2名増員、それから学校図書館司書が27年は4名だったところが28年は9月以降9名に切りかわっているというところで、大部分のところは学校図書館司書の賃金になるのかというふうに思います。

○立川委員 司書がふえたということで800万円という理解をさせていただいておきます。

反対に、その下の作業員の賃金がちょっとこれも変化しているが、さっき言ったのと。

○大岩教育総務課長 27年度が9万円。こちらの減額理由については、日生南小の閉校に伴う閉校時の式典の環境整備ということで、作業員の方に草刈りとかその周辺をきれいにしていただくことで、その分が6万6,000円減っております。

それから、今回の2万9,000円については、三国小学校の環境整備ということで、その分だけでございます。

○立川委員 その下の11節需用費、消耗品費、これも減額になっておるが、その理由と、これはもう指導書とかそういったものかなとは思いますが、その辺ちょっと。先生が減ったんですか。

○岡部学校教育課長 教師用の教科書と指導書の購入分の減額、それから備前市版の社会科の副読本の製本費用の減額、合わせて390万円ほどになっております。

○立川委員 何で減ったのでしょうか。

○岡部学校教育課長 教科書については、採択がえに伴って、27年度は教師用の教科書と指導書がたくさん学校に必要になりますが、採択がえが終わって学校に教科指導書が入ったら、次の年はそこまでたくさん必要ないということで、大幅な減額ということになっています。

○立川委員 先ほどおっしゃいました備前市の副読本を減らしたかというわけではないんですね。

○岡部学校教育課長 そういうわけではありません。副読本については、子供たちに配るようにつくっております。

○立川委員 配布数というのは、どの程度送っておられるのか、各学校に。

○岡部学校教育課長 改訂の場合は、各学年教員分が配られております。

○掛谷主査 ほかはいいですか、小学校費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

178から183ページまでの中学校費全部です。

○西上委員 183ページの19の負担金補助及び交付金で、部活動補助金が53万8,000円から50万4,000円に減らされていますが、これは何ででしょうか。

○岡部学校教育課長 生徒数掛ける単価ということで計算をしております。生徒数の実績という

こととございます。

○掛谷主査 ええですか。

○西上委員 はい、ありがとうございます。

○掛谷主査 ほかに。

○立川委員 その上の18節の備品購入、図書費として204万5,656円上がっているが、大変変な言い方ですけど、年々減っている気がして、29年度にしても170万円ほどですよ。これで本当に大丈夫と踏んでおられるのでしょうか。図書館の充実で司書も配置されたのに、何で本を買うのをこんだけどどんどん減らされよんですか。その辺、何か理由はわかりますか。

○大岩教育総務課長 図書の購入費については、交付税の需要額に入る基準というのがございまして、これは文科省がつくっている基準ですが、その基準の算定額を一応予算計上ということでしているのが実情でございます。

○立川委員 いえ、そうじゃなくて、備前市では子供のために図書も頑張りましょう、司書も配置しましょうと。肝心の図書は、小学校費と一緒に減額がどんどん進んでいる。これは何かおかしくないですかというのが問いです。別に構わんのじゃないですか、ほかに補助金が来なくても買えばということになりませんかということで、方向性を聞きたいわけですが。本当に充実を図っていくつもりなのか。補助金の範囲内でちょこちょこやっとならばいいのか。どういうスタンスでしょうかというところが聞きたい。

○川口教育部長 そこにある学校図書が学習活動に果たす役割というのは大きいものがあるというふうに考えております。ですので、やはり必要な環境を整えるということで、学校司書も1校1名配置ということでやりましたように、図書についても必要な整備を整えていきたいと考えております。基本的な方向性としてはそのように考えております。

あとは、やはり予算の制約の中でどこまでそれを実現できるかということを追いかけていくということかなというふうに思います。

○立川委員 じゃあ、お願いしときます。さっき学校教育課長も言われたように、せめて水準は維持してくださいというのを最低お願いしたいです。今年度になると減額されているでしょう。課長が頑張ってくれなあかんの違いますか。せめて去年と同額ぐらいいは何か。今、部長に方針をお聞きしましたので、何とか充実を図りたいということなので、そういう方向性でお願いはできませんか。

○大岩教育総務課長 今先ほども申し上げましたが、交付税の措置額ということで均等割と学級数、児童数で基準に合わせて予算取りしていますので、特別の事情があるものについては、学校現場のいろいろな問題もあるかと思いますが、そういったところは聞いていきたいと考えております。

○掛谷主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

182から185ページまで、高等学校費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

184から189ページの6項社会教育費、1目社会教育総務費。これは9ページに別紙で詳細に書いておりますので、参考にしながらお願いしたいと思います。

○星野委員 187ページの委託料で体験教室委託料106万円のうち、34万円程度がイングリッシュキャンプの費用だったと思いますが、参加人数をお教えください。

○高橋生涯学習課長 小学生が32名参加しております。

○星野委員 参加者の反応とあってアンケートはとられていますか。

○高橋生涯学習課長 手元にはないですが、アンケートはとっております。

○星野委員 またまとめた資料を提出してください。

○掛谷主査 感想関係のアンケートを後で出してください。

○星野委員 同じところの備前ふるさと創生カレッジ運営委託料はどのような事業を28年度は行われたのかと、参加人数をこちらもお教えください。

○高橋生涯学習課長 29年4月から開講をいたしますふるさと創生カレッジのオープンカレッジとして、平成29年1月、2月、3月と3回にわたりこういう学びの場を立ち上げるということの説明をさせていただきました。参加人数は延べで63名でございます。

○掛谷主査 いいですか、それは。

○星野委員 はい。

○掛谷主査 ほかに。

○立川委員 その上、8節の報償費、講師の謝礼で310万5,000円、かなり増額にはなっているが、この内容と成果等々について御説明をいただきたい。

○高橋生涯学習課長 先ほど学校教育課長からの説明もあったかとは思いますが、昨年まなび塾の報酬については、違う費目で計上しておりました。その分で、ことしのまなび塾の講師謝礼については197万1,500円がこちらのほうへ項目が変わって入ってきております。それも増額といったことになろうかと思えます。

それ以外については、家庭教育支援の講師の方、PTA等の人権教育の推進の講師、人権教育セミナーの講師などで、額については平年と同じぐらいの額になっております。

効果については、各校で家庭教育支援なども行っておりますので、アンケート結果等を見てもおおむね好評だというふうに評価をいただいているところでございます。

○立川委員 310万円でまなび塾がざっと200万円、残った110万円ですが、昨年あたりでも50万円ほどですが、何か同じとは私の中では計算できないが。

○高橋生涯学習課長 27年度については、覚えておられるか、高校生に図書カードを一律配布した事業がございました。それが291万円ほどかかっておりますので、それがごそっとないよ

うな形になります。

○掛谷主査 よろしいですね。

○立川委員 先ほどの13節委託料、学校支援地域本部委託料275万7,000円、これは大体例年似たようなことでちょっと上がっているが、今後もこの事業は積極的に行かれるのでしょうか。さっき言われたように現状維持でしょうか、ダウンでしょうか。方向性はどうですか。

○高橋生涯学習課長 こちらのほうは、補助金の絡みもありますが、補助金が増額になるということは、県のほうもそういう方針は示しておりませんので、現状維持ということになるかと思えます、金額については。

ただ、やはり参加していただくボランティアの方とかに積極的に入っていただいておりますので、活動についてはしっかりと今後も継続してやっていきたいというふうに考えております。

○掛谷主査 ほかには。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

188から191ページ、同じ教育費の社会教育費ですが、2目の公民館費。

○星野委員 公民館費、多分全体になると思います。

28年度の重点目標で、公民館を拠点としたコンパクトシティーの構築を想定した準備を行っていくとあったが、具体的にどのような整備が行われたのでしょうか。

○高橋生涯学習課長 コンパクトシティーの仕組みづくりというものについては、所管は市民窓口になるかと認識しておりますが、公民館関係で言いますと、公民館の館長主事会議を行った際に、市民窓口の担当が来て御協力を依頼されたということはございました。

○掛谷主査 よろしいね。

○立川委員 7節の賃金、臨時のほうは1,205万2,938円で上がっているが、これがかなりふえている。公民館長の報酬がその上にあるが、これは変わらず、主事もそう変わらず。この理由と内容を教えていただきたい。

○高橋生涯学習課長 賃金が27年度と比較すると627万円ほど館長の分の報酬が上がっております。これについては、臨時雇いである賃金が、今まで報酬で支払っていた方が臨時雇いになり、その方が2人ふえて、臨時雇いが4人になったということが主な理由でございます。

もう一つは、吉永の正職の職員が少し休むようになり、28年7月から臨時雇用を1人ふやしておる賃金が上がっているということで、こちらの増額になっております。

○立川委員 そしたら、報酬として上げておられる公民館長が何名で、臨時で上がっているのが今4名というお話でしたので、報酬として上がっている公民館長は何名ですか。

○高橋生涯学習課長 地区公民館で、香登、伊部、伊里、神根の4人でございます。

○立川委員 そしたら、臨時のほうは4名で、8名で回していると。主事については、これ何名分ですか。これは余り変わってないが。

○高橋生涯学習課長 主事については7人分でございます。

○掛谷主査 ほかにはいいですか、公民館費。

○立川委員 13節委託料の中で聞きなれないものがあるって、特殊建物調査報告書作成業務委託料34万5,000円、これ報告の概要とかがわかりましたら教えてください。

○高橋生涯学習課長 これは、昨年はなかったと思いますが、3年に1回建築基準法で義務づけられた報告で、構造、防火、避難施設などの維持管理状況を県へ報告することが義務づけられています。昨年が3年に1遍の年だったということで御理解いただきたいと思います。

○立川委員 これ内容はどうでしたか。指摘事項とかはされていませんか。

○高橋生涯学習課長 特に指摘はいただいておりません。

○立川委員 じゃあ、マル適マークをもらって張っておられるという解釈でよろしいですか。

○高橋生涯学習課長 はい、そのとおりでございます。

○掛谷主査 公民館費、ほかには。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

同じところ、今度は3目図書館費全部です。

○星野委員 193ページの備品購入費で、不用額が3万6,140円上がっています。そのうち3万5,852円が図書の本の購入の部分だと思えますが、少し高目の本でも3万5,000円あれば10冊程度は買えると思うが、不用額が出た理由をお教えてください。

○高橋生涯学習課長 確におっしゃるとおりだと思いますが、結果としてこの数字になっているというふうに御理解いただきたいと思います。

27年については、300万円しかなかった予算が1,000万円まで上げていただけたということで、図書館長としては非常に感謝をいたしております。

○掛谷主査 よろしいか。

○立川委員 今おっしゃいましたように、公民館のほうの図書は上がっているんです。学校のほうは下がっているんです。何も感じられませんかということで、どの点に重点を置いて選書されたのかということがちょっと気になるんです。ですから、ジャンル別とか、購入冊数とか、一覧表的なものがあれば。題目は要りませんので、例えば自然科学であったり、人文科学であったりとかというジャンルで結構ですから、どの程度入れられたかという一覧表、そんなのがあったらいただきたいと思うが、いかがですか。

○高橋生涯学習課長 蔵書自体は決算資料の52ページ、購入冊数については資料の53ページでございます。

作成しようと試みた経緯もございます。しかしながら、日本十進分類法に基づくわけを52ページに載せておりますが、いかんせん年度末に買った図書が、実際買ってはいますが、登録が新年度になってしまうと年度がわりをしてしまい、53ページの数字に合わない状況になってしまいました、現実として。ですので、概算でよければ十進分類の購入費をざっと出すことができるかなというふうには思っております。ただ、53ページの数字には合わないということでござい

ます。

○立川委員 別に合わなくてもいいですが、ほかの自治体との比較とかもありますので、できたら作成いただけたらと思います。それをお願いしておきます。

それと、それだけ買われたら保管、例えば書庫が足りないとか、私もちょっと見たことがありますが、A4の本を棚がないからって横に並べているところもある。それを現実に見ると、保管はどうなっているのか、足りているのかという心配があるが、いかがですか。

○高橋生涯学習課長 まことに図書館で勤める者として情けないことであると思っております。

もちろん分野によりましては、もう3年もたてば中身が現実に追いついていないという分野も出てまいります。ですので、廃棄の基準に従い、いつまでも役に立たない本を持っておるという方針では考えておりません。ですので、バランスのいい選書を職員全員で行っておりますので、この場をかりて御報告申し上げたいと思います。

保管庫については、もう本当に狭いです。もう正直申し上げて、この状況は何とか改善できるものでは、もう箱の問題になってきますので、改善できる方策というのはなかなか見つけられない状況でございます。

○立川委員 もうぜひ御努力をお願いしたいと思います。

それから、さっきも話をしていましたが、不用が3万6,140円出ているので、この金額があれば図書館の机も入れかえができたという気はするが、あの机は何とかなりませんか。

○高橋生涯学習課長 私も、展示スペースも含めて、先日司書とそのような話をいたしました。もう利用者の方にとってそういう声を拾うていこうということで今後は努力してまいりますので、ぜひお気づきの点があれば、このような形で御指摘いただきたいと思っております。

○立川委員 いや、図書館では申し上げよんですけど、私もあそこへ行くときは自分でマットを持っていくんですけど、何回もかえてよというお願いをするが、さっき課長は言うてくださいますけど、豆腐に何とか、のれんに何とかで全然変わらへんのですけどね。これ3万6,000円惜しかったですね、机買えますよ。

○高橋生涯学習課長 効率的な予算執行と、それから私の指導力不足というところも相まっつの結果だと思っております。素直に反省して改善していきたいと思っております。

○掛谷主査 図書館費はよろしいですか。

○西上委員 備前市備前ゆかりの作家、正宗白鳥とか柴田錬とかの所蔵数がわかりましたらお願いいたします。

○高橋生涯学習課長 正直、今司書でもすぐ答えが出てこないと思います。申しわけございません。

○掛谷主査 調べればわかる。後で教えて。

○高橋生涯学習課長 郷土資料の主な方という認識でよろしいでしょうか。

○西上委員 そうですね。あわせて、どのくらい借りられているか、これもお願いしたいと思

ます。

○高橋生涯学習課長 後日お知らせいたします。

○掛谷主査 ほかによろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、192ページから195ページまで、4目文化財保護費です。これも別紙があります。別紙の10ページに詳細が載っています。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、同じく社会教育費の5目文化施設費ではどうでしょうか。

別紙の11ページに詳しいところが出ております。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

6目青少年対策費で何かありますか。

○西上委員 青少年育成センター地区指導員報酬、去年は45万円で、この1万円の差というのは何でしょうか。

○高橋生涯学習課長 地区指導員の人数掛ける2万円が報酬の計算根拠でございますが、1万円は任期の関係があり、1万円の減となっております。

○掛谷主査 ほかに。

○立川委員 19節負担金補助及び交付金で、一番下のFOSの少年団補助金、これずっと変わらないですが、ざっとですけど、団員数が変化したとか活動内容が変わったとか、そんなのは把握しておられますか。

それと、同じようなことで、スポ少の補助金の絡みもあると思うが、何か考えておられることがあったら教えてください。

○高橋生涯学習課長 少年団補助金については、合併時には日生、吉永に少年団がありますが、両少年団で38万円の補助金がありました。それから、30万円、27万5,000円と経過をたどって今の数字になっております。これは、今、日生については6団体、18名が加入、指導者は18人、それから吉永は6団体58名、指導者が5人という状況になっております。やはり岡山県内のFOS少年団もそうですが、団員が減少傾向にあるというのは現実問題としてございます。ですので、補助金については減少してきて、現状維持を何とか頑張っているという状況でございます。

○掛谷主査 スポ少、ちょっと違うところじゃけど。

○高橋生涯学習課長 正直、スポ少との関連については、今まで検討ということさえもしていない現状でございます。

○掛谷主査 いいですか。

○立川委員 はい。

○掛谷主査 6目青少年対策費は、もうそれで結構ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次、保健体育費の中で学校給食費の４、７、１１、１２、２７節の一部を除くということですから、学校給食費の２節、３節、９節、１３節、１５、１８、１９、これが関係します。

○星野委員 学校給食費の多分全体になるが、各調理場の提供能力と提供数、昨年度決算では２６年度の数値を教えてください、最新のデータがあればそちらをお教えてください。

○大岩教育総務課長 能力と人数ということで。

○星野委員 そうです。

○大岩教育総務課長 西鶴山共同調理場が能力７００で提供が４３４食、伊里共調が１，５００の能力があり８６０食、日生共調が１，０００食の能力があり５４６食、吉永共調が６００食能力があり４２１食、片上小学校は１３５の１３５ということで、提供数と能力はイコールになっております。

○星野委員 あと、１人分の給食をつくるのにどれぐらいのコストがかかっているのか、わかればお教えてください。

○大岩教育総務課長 材料費のほうは、給食代ということで……。

〔「材料費は除いて」と星野委員発言する〕

除いてですか。

〔「はい」と星野委員発言する〕

１食当たりの経費は、２８年度決算ベースで西鶴山共調が３０４円、伊里共調が２８５円、日生共調が３４７円、吉永共調が３０４円、片上小学校が７０２円となっております。

○掛谷主査 ほかにはどうですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後になりますが、２０４、２０５ページの１３款諸支出金、２項基金費の中の１目積立金、学校教育振興基金積立金と奨学資金貸付基金積立金のところで、何かあればどうぞ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体で何か皆さん方がこれはという取りこぼしがありましたら受け付けしますけど、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑はもうないということで、以上で議案第８２号平成２８年度備前市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、本分科会所管部分の教育部関係の全ての審査を終了します。

これをもちまして予算決算委員会厚生文教分科会を閉会します。

皆さん、お疲れさまでした。

午前１１時５９分 閉会